

用語	輸出令別表第1中の解釈・用語の解説
オクトーゲン又はヘキソーゲン	<ul style="list-style-type: none"> ・ オクトーゲン: 正式名称はシクロ-1, 3, 5, 7-テトラメチレン-2, 4, 6, 8-テトラニトラミンで、略称はHMX (High Melting Point Explosive)。 <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{c} \text{NO}_2 \\ \\ \text{H}_2\text{C} - \text{N} - \text{CH}_2 \\ \qquad \qquad \\ \text{O}_2\text{N} - \text{N} \qquad \text{N} - \text{NO}_2 \\ \qquad \qquad \\ \text{H}_2\text{C} - \text{N} - \text{CH}_2 \\ \\ \text{NO}_2 \end{array}$ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘキソーゲン又はシクロナイト: 正式名称はシクロ-1, 3, 5-トリメチレン-2, 4, 6-トリニトラミンで、略称はRDX (Research Department Explosive)。 <div style="text-align: center;"> $\begin{array}{c} \text{CH}_2 \\ / \quad \backslash \\ \text{O}_2\text{N} - \text{N} \quad \text{N} - \text{NO}_2 \\ \qquad \quad \\ \text{H}_2\text{C} \qquad \quad \text{CH}_2 \\ \backslash \quad / \\ \text{N} \\ \\ \text{NO}_2 \end{array}$ </div> <p>HMX、RDXとも現在の化合火薬類の中では、最も強力な爆薬であり、TNT(トリニトロトルエン)と混合してRDXはコンポジションBとして、HMXはオクトールとして伝爆薬、さく薬に用いられる。また樹脂類と混合して可塑性爆薬としても使用される。この他、HMXはコンポジット推進薬の酸化剤としても使用される。</p> <p>(参考)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)コンポジションB MIL規格(MIL-C-401)で規定されたRDXとTNTを主成分とする混合爆薬(RDXとTNTを60対40の割合で混合し、更にWAXを添加した可塑性のある混合物)。 2)オクトール HMXとTNTの混合物で、軍用TNT系高性能混合爆薬(HMXとTNTの70対30あるいは75対25の混合物)。
コンポジット推進薬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃料成分と酸化剤成分とを混合した固体推進薬を指す。それぞれの熱分解生成ガスが拡散混合して燃焼が進行する。製造時によく混合しておく必要がある。燃料成分はポリマーや金属粉が使用され、酸化剤は過塩素酸塩類、RDXやHMXが使用される。 ・ 軍用の硝酸塩を含む推進薬では、一定以上(例えば5%超)のアルミニウム(AI)含有量のものが通常使われてきたが、現在ではアルミニウム含有量の極めて少ないもの、あるいは他の金属粉を含む推進薬(アルミレスの無煙性又は希煙性推進薬)で、高性能固体ロケット用が実用化されている。
2-ニトロジフェニルアミン又はN-メチル-p-ニトロアニリン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進薬(ダブルベース推進薬)の安定剤に使用される。 ・ 安定剤としては、輸出管理令別表第1の1の(4)の項の解釈に9品目記載されており、左記2品目もこの一部である。
ヒドラジンニトロホルメート	略称HNFと呼ばれ、過塩素酸アンモニウム(AP)と同様に、固体推進薬の酸化剤として使用される。